

	項目	項目詳細	基準	現況	自社現況詳細	1step	2step	3step	達成
① 飢えと乾きからの自由	飼料	安全性	カビやサルモネラ等に汚染されていない、安全な飼料	○	飼料会社での検査実地				
		栄養・嗜好性	栄養バランスの取れている 好んで食べる	○	畜産試験場での試験を実施	ハーブ類の飼料添加による栄養成分の向上	自社内での栽培開始		自社穀物飼料率15%
		給餌量制限の有無	空腹ストレスがかからない	○	給餌制限なし				
	水	水道水・井戸水共通	都道府県別の衛生基準を満たしている	△	2年以内に水質検査を実施	1年に一度の実施			
		飲水量制限の有無	潤沢で自由に飲めること	○	天然湧水・制限なし				
② 不快からの自由	飼育環境	飼育面積	1羽当たり550cm以上 (成鶏)である事	○	1羽当たり0.15㎡以上での飼育				
		飼育方法	エンリッジゲージ以上	○	平飼い・放牧飼育				
		暑熱・寒冷対策	正常な体温を保てる温度	△	山間部の為暑熱は問題なし				
		野生動物侵入防止策	動物侵入防止策を行っている	△	定期的な柵・抜け穴チェック	害獣動線用カメラ設置	定期駆除依頼		
		病原体侵入防止策	病原体侵入防止策を行っている	○	消毒・石灰・専用長靴履き替え				
	新鮮な空気の確保	常時新鮮な空気と交換できる (ゲージ) 傾斜8度以下	○	冬季以外は常時開放					
	床	不快感を感じない床面 (平飼い) 発酵床、乾燥土間による敷料管理	○	管理の行き届いた完熟堆肥による敷料管理					
③ 痛み、傷、病気からの自由	病気・疾患	早期発見体制	鶏舎見回り・管理表の記載	○	給餌量・産卵率・死亡率等による変化で確認				
		予防策	推奨ワクチネーションプログラムの実地	○	コクシジウムのみワクチン接種				
		疾患鶏の分別管理	疾患鶏の別飼育・適切な投薬	△	疾患鶏隔離	隔離場所の同一化			
	換羽	強制換羽・給餌休産	絶食による強制換羽の禁止	△	誘導換羽の実施				換羽なし
	ピークトリミング	断嘴の実施の有無	生後10日以内実地・極力避	△	ツツキは出た場合のみ実施				
④ 正常行動発想の自由	遊具	止まり木	1羽当たり15cm以上の大きさ	○	鶏舎内に配置済				
		砂浴び場	管理された衛生的な砂浴び場	○	完熟堆肥による砂浴び				
	照度	舎内の点灯	暗闇での飼育禁止	○	夜間用小玉球の設置				
⑤ 恐怖や悲しみからの自由	屑鳥・安楽死	疾病・傷害鶏の安楽死	炭酸ガス麻酔の使用	×	熟練者による手締め				炭酸ガス麻酔の導入
●その他	AW教育	飼育員へのAW教育	農場スタッフのAW理解	○	月1回HACCAP会議の実施				